（倫理様式 2-2-1）

急性期病棟に管理栄養士を 365 日配置した後の経管栄養患者の現状と課題に関する研究

１．研究の対象

令和 2 年 4 月から令和 6 年 9 月に、脳卒中にて当院急性期病棟に入院され、入院後に経管栄養が開始された方

２．研究目的・方法

脳卒中によって食事が食べられなくなる（必要な栄養量が確保できなくなる）と、容易に栄養状態が低下してしまいます。脳卒中発症後、早期に栄養介入することや必要な栄養量を確保することは、急性期だけでなく、回復期以降の栄養状態にまで影響するといわれています。そのため、急性期病棟に祝日を含む月～土に病棟管理栄養士を専任で配置し、日々の変化にあわせた栄養管理を行っています。さらに、令和 4 年度より日曜を含めて 365 日の配置に体制を変更しました。

本研究の目的は、急性期病棟に管理栄養士を配置して 365 日栄養管理を行うことで、経管栄養を開始した後の栄養補給量や経口への取組みに影響していたかを明らかにすることです。脳卒中のため経管栄養が開始されたあと、退院するまでの経過について診療録等から情報を収集し、分析しました。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢・栄養補給方法・投与栄養量　等

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

公益財団法人脳血管研究所　美原記念病院　栄養管理部
住所：群馬県伊勢崎市太田町 366
電話：0270-24-3380
研究責任者　星野郁子